

平成30年度 伊勢市防災会議

31.03.28

伊勢市防災センター



議案

議案第1号 伊勢市地域防災計画の修正について

報告事項

伊勢市の主な事業概要について

伊勢市防災会議構成機関の災害時の対応

- (1)三重県伊勢建設事務所
- (2)市立伊勢総合病院

議案

第1号

伊勢市地域防災計画の修正について

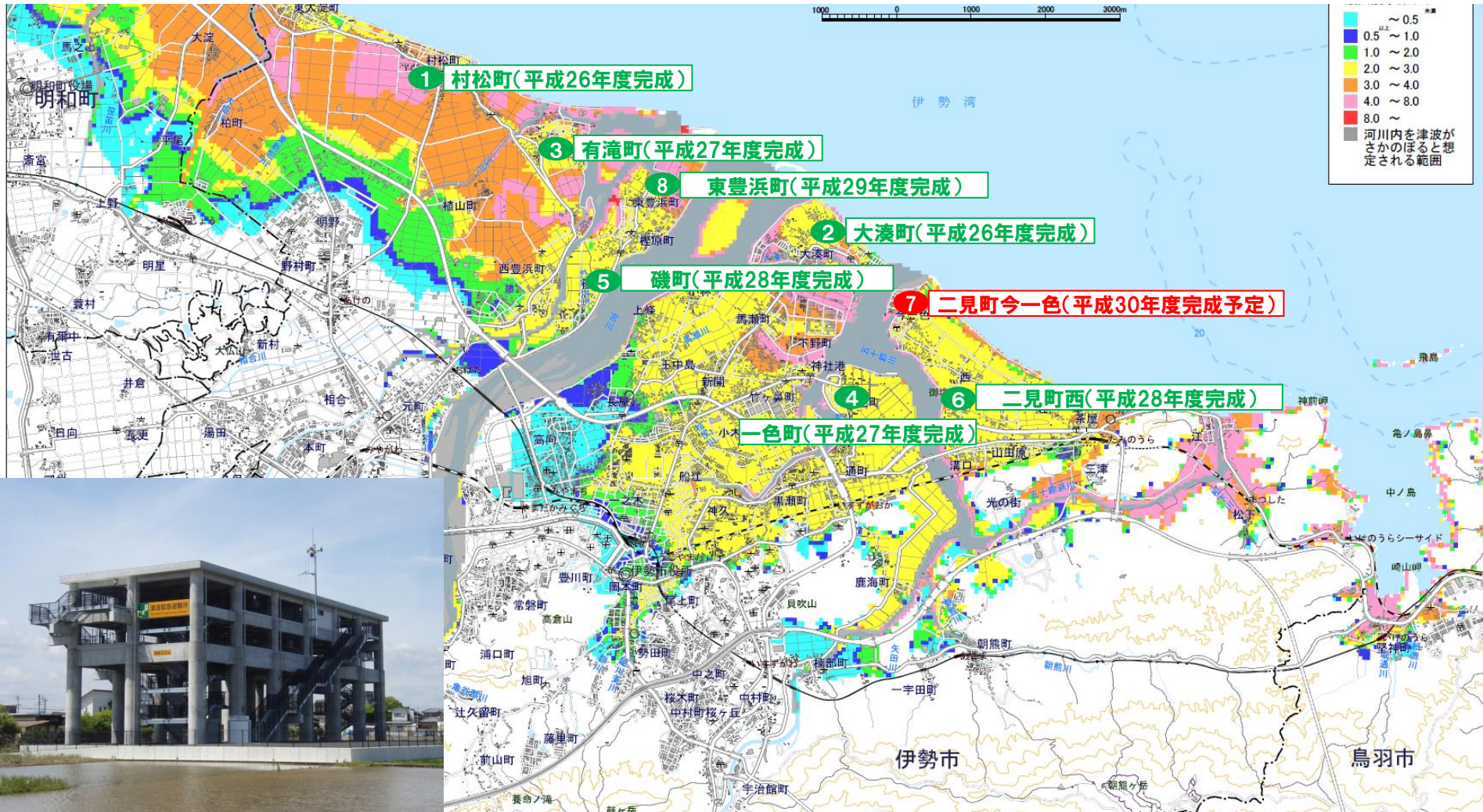
【資料1】
新旧対照表



年度	主な改訂内容
平成18年度	旧4市町村の地域防災計画をベースに新市の計画を作成
平成21年度	水防法の改正に伴い修正
平成23年度	災害対策本部設置基準の改正・業務担当課を記載
平成24年度	避難所指定基準の作成に伴う修正
平成25年度	災害対策基本法の改正に伴う修正
平成26年度	災害対策基本法の改正に伴う修正 南海トラフ地震防災対策推進計画の作成
平成27年度	東日本大震災の教訓を基に大規模改訂
平成28年度	洪水浸水想定区域図【宮川】の公表に伴う避難所見直し及び熊本地震の教訓を基に改定
平成29年度	台風第21号の教訓を基に改定

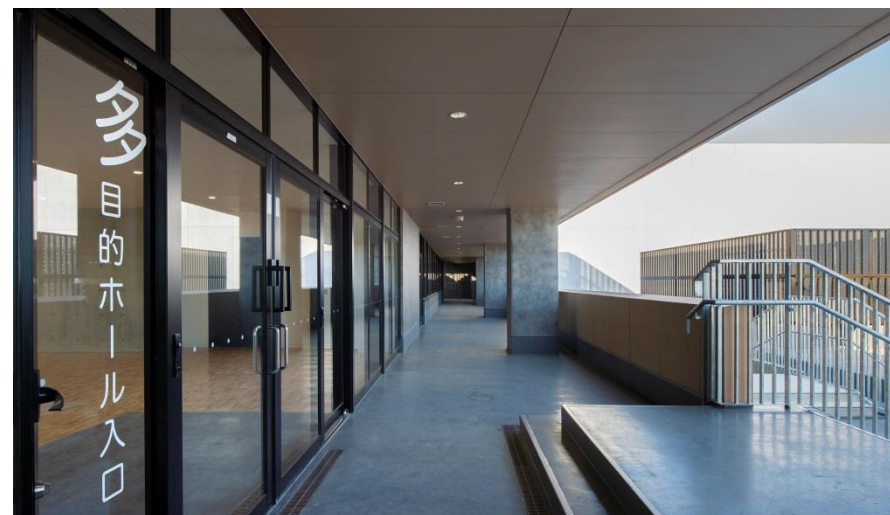
平成30年度施策の進展等を踏まえた改定

●津波避難施設や統合学校を避難所に指定



津波浸水区域と津波避難タワー等の位置

●津波避難施設や統合学校を避難所に指定



●河川の浸水区域内や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設を整理

- ・平成30年度中に変更のあった内容を計画に反映
- ・小学校、中学校、高校を要配慮者利用施設に定義

要配慮者利用施設

社会福祉施設、学校、医療施設など防災上の配慮が必要な方が利用する施設

施設例

老人福祉施設、児童福祉施設、幼稚園、学校、病院など



●防災センターを災害対策本部第一拠点として位置付け



●伊勢志摩地方総合卸売市場を物資拠点に指定



●県営陸上競技場を避難所に指定



報告事項

(1)伊勢市の主な事業概要について

広島県熊野町に職員の派遣

平成30年7月豪雨で被災した、広島県熊野町に職員の派遣を行いました。

7月10日～7月17日	職員2名
災害対策本部の運営支援	
7月12日～7月15日	消防職員10名
行方不明者の捜索	
7月30日～8月 5日	職員2名
遺留品の対応、要配慮者宅の訪問	
8月19日～8月23日	職員1名
避難所運営支援	
10月2日～12月28日	土木職員2名
復旧工事	



伊勢市防災大学の実施

災害に強いまちづくりを目指すため、市民の皆様を対象に伊勢市防災大学を平成29年度より実施しております。

今年度は47名の方が受講し、大阪市の津波・高潮ステーションの視察研修や三重大学 川口先生による防災講話など全8回の講座を開催しました。

来年度も引き続き実施します。



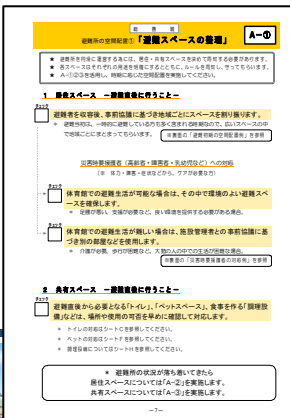
避難所運営マニュアル

大規模災害時には、地域が主体となった避難所運営が必要です。

避難所ごとに発災前から地域の方々や施設管理者も参加した避難所運営のための組織づくりを行い、避難所運営マニュアルの作成や訓練、運営に必要な資源の準備を進めることが重要である。

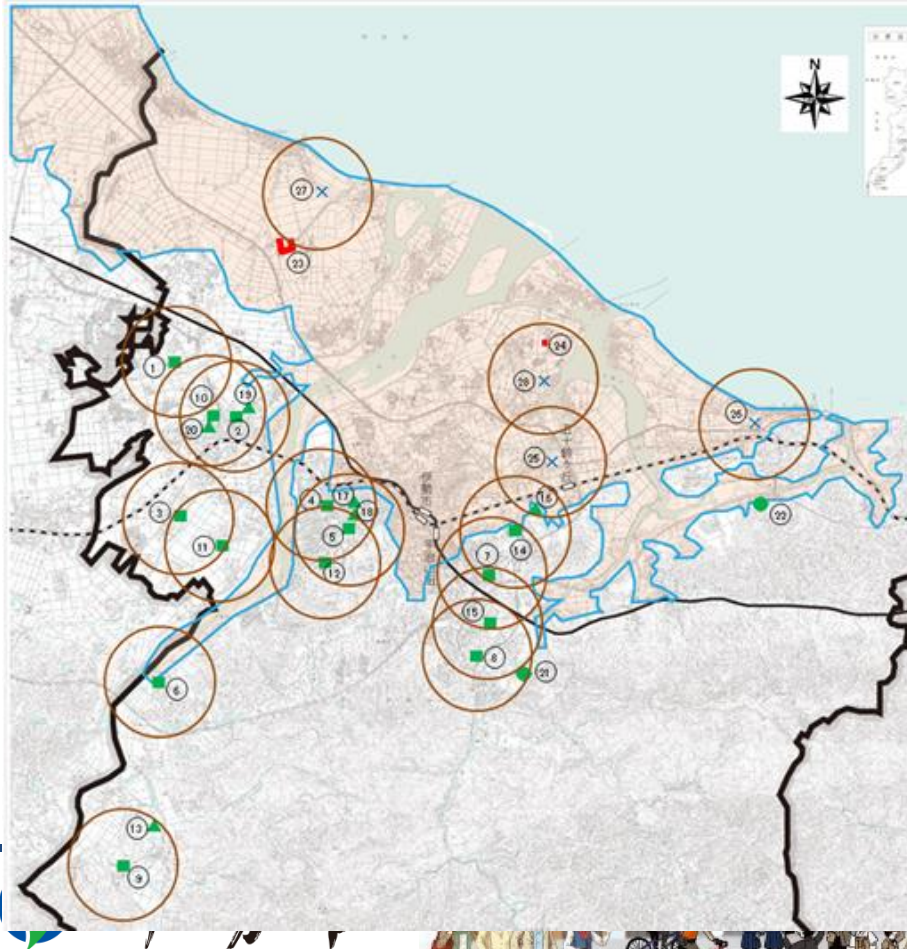
避難所運営マニュアル策定に取り組んでいる地域
進修地区(進修まちづくりの会)
神社地区(神社地区まちづくり協議会)
城田地区(城田地区まちづくり協議会)
沼木地区(沼木まちづくり協議会)
明倫地区(明倫地区まちづくり協議機会)
中島地区(中島地区まちづくり協議会)

避難所運営マニュアルが策定されている地域
厚生地区(厚生地区まちづくりの会)
浜郷地区(浜郷地区まちづくり協議会)



災害用トイレ、防災備蓄倉庫の整備

平成30年度～平成33年度（4年間）で災害用トイレ21箇所、防災備蓄倉庫2箇所を整備します。



番号	施設名	災害用トイレ		太陽光 照明灯	移動 円滑化
		マンホール トイレ	多目的 トイレ		
1	明野小学校			○	○
2	小俣小学校		○	○	○
3	城田小学校	○		○	○
4	中島小学校		○	○	○
5	早修小学校		○	○	○
6	佐八小学校	○	○	○	○
7	修道小学校	○	○	○	○
8	進修小学校		○	○	○
9	上野小学校	○	○	○	○
10	小俣中学校			○	○
11	城田中学校	○	○	○	○
12	伊勢宮川中学校	○		○	
13	旧沼木中学校	○	○	○	○
14	倉田山中学校	○	○	○	○
15	五十鈴中学校		○	○	○
16	伊勢市生涯学習センター	○		○	
17	伊勢市健康福祉センター			○	
18	サンライフ伊勢			○	
19	小俣保健センター			○	
20	小俣農村環境改善センター		○	○	
計		9	12	20	14
21	宇治地区防災地区倉庫				
22	二見地区防災備蓄倉庫				



建物判定BOXの設置

- 地震発生時に建物内に入ることが安全かを確かめるため、建物判定BOXを設置し、職員に使い方の研修を行いました。
- 今年度は本庁舎、総合支所、防災センターの5箇所に設置
- 今後は避難所等への設置を検討していきます



水位計の設置

河川水位情報をリアルタイムに把握でき、避難情報等に活用できるように市内20箇所にて危機管理型水位計の設置を予定しております。

現在、5箇所にて設置が完了しています。

▼矢田川(楠部町地内)への設置状況



協定市と連携した図上訓練の実施

協定市と連携し、平成31年1月25日に図上訓練を実施しました。

先遣隊として長野県飯田市、愛媛県西条市から職員が派遣された想定で訓練を実施し、受援のために必要な準備を確認しました。



受援計画

被災者の支援を効果的に行うためには、円滑に支援を受け入れ、災害対応を実施する必要があります。そのための「受援計画」策定に向けたキックオフとなる勉強会が、昨日、三重県主催で開催され、来年度以降は関係千一ムが連携し、計画の検討を進めていきます。

支援物資の
受入

ボランティア
の受入

自治体応援
職員の受入

河川の浸水想定区域の発表に伴う避難所 の見直し

三重県から 河川の新たな浸水想定が公表されるため、浸水想定等を確認し、避難所の見直しやハザードマップの作成を行います。

▼新たに浸水想定が公表される河川

宮川（県管理区間）

汁谷川

横輪川

五十鈴川

松下川

松尻川

勢田川（県管理区間）

大堀川

外城田川

相合川

有田川

避難確保計画の提出及び訓練の実施状況 について

○避難確保計画の提出

194施設中、126施設提出済、14施設完了

○避難訓練

194施設中、11施設実施

洪水浸水想定区域内にある要配慮者利用施設は、
避難確保計画の作成及び訓練の実施が義務化され
ています

伊勢市防災会議構成機関の災害時の対応

(1)三重県伊勢建設事務所 【資料2】

(2)市立伊勢総合病院 【資料3】

■次年度以降

次年度以降も防災会議構成機関の皆様から順番に災害時の対応について御紹介いただきたいと思いますと考えています。

発表についてお願いさせていただいた際にはご協力ください。